

とり村回覧板

Vol.
28
2021年 冬号

認定NPO法人TSUBASA
「人・鳥・社会の幸せのために」
tel.048-480-6077
www.tsubasa.ne.jp
埼玉県新座市中野2-2-22

【COCO】@ウロコボウシインコ

基本的に物静かで大人しい男の子です。手に乗る事もできますが、男女問わずごく一部の選ばれし人だけです。COCOなりの基準があるらしいのですが、未だに謎です。また、相性のあまり良くない人に対して少し攻撃的になることがあります。普段は大人しめなCOCOですが、ただ今ご飯の制限中によりご飯が視界に入ると、「早くくれ!」と言わんばかりに途端にそわそわし始めます。ものすごい勢いで食べきってしまうため、フォレイジングトイを2個付けにしてみたり、配置を変えてみたりと日々スタッフも工夫しています。



右目が白内障ですが、ずっと愛用しているフォレイジングトイはお手の物。その食いしん坊っぷりはTSUBASA内でも1、2を争うのではないのでしょうか。食べる事にも一生懸命なCOCOの姿はなんとも微笑ましいです。そんなCOCOですが甘えん坊な一面もあります。撫でて欲しい時には、羽がふわっと膨らんで近くに寄ってきてくれます。しかし当たり判定が少しシビアな気がするのはいのせいでしょ、お気に召していただけないことが多々あります。怒られながらも日々カキカキの腕を上げようと頑張っているスタッフなのでした。

TSUBASA

「The Society for Unity with Birds – Adoption and Sanctuary in Asia」
(鳥と調和のとれる社会 – アジアの里親とサンクチュアリ)

TSUBASAは「人・鳥・社会の幸せのために」を理念に
レスキュー活動をする団体です

TSUBASAは、インコ・オウム・フィンチと暮らす全ての方、そして動物愛護に関心をお持ちの方に対してより良いバードライフのご提案と適正な飼育のための啓発活動を行っております。

また、様々な理由により手放されてしまった鳥たちを引き取り(里子制度)、新しい飼い主さんを探す(里親制度)活動を行っております。

回覧板を設置して くださいますか?

広く、皆さまに活動を知っていただく事を目的とし本誌を発行しております。回覧板を設置して下さる団体様、施設様を随時募集しています!



CONTENTS

Vol.28

- 新型コロナで大打撃? 1
- オンラインセミナー始動! 3
- コロナ禍のTSUBASAの鳥たち 5
- 届出で繋ごう鳥と飼い主 6
- 2020年鳥の出入り他 7

新型コロナで大打撃？

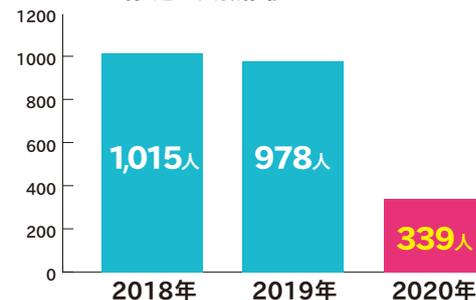
皆さま、ご無沙汰しております。いかがお過ごしでしょうか？2020年は一年を通して新型コロナによる話題で持ちきりでしたね。そんな新型コロナウイルス（以下、コロナ）の影響により世間のイベントやセミナーの多くは中止を余儀なくされてしまいました。TSUBASAも予定していた施設開放や里親会、各地でのセミナーなど、様々なイベントが中止や延期となりお客さまと接する機会の多いTSUBASAにとっても、とても苦しい一年になりました。

実際にTSUBASAがどれだけ影響を受けていたのか？

コロナ前後のイベント等の内容比較

イベント等	新型コロナ以前	新型コロナ後
施設開放／バードラン	土日祝	全面中止
里親会 (MTB)	毎月1～2回	7月、10月に各4日間ずつ
1週間のボランティア人数	約18人	約0～4人
1ヶ月の対面式イベント	約4回	約1～2回
引き取り	常時受け付け	常時受け付け

ボランティア様 延べ人数推移



簡単にまとめたものではありませんが、やはりコロナ前と比べるとイベントの数が減っています。

また、ボランティア様の参加人数も募集の中止や制限をしてお集まりしているため、コロナ前と比べると大幅に減ってしまっています。

人数の少なくなった中でも引き取りや普段の飼育はいつもと変わらずあるため、時には検疫室*が満室になり忙しくなることもありました。

そんな慌ただしい日々を過ごしていく中でボランティア様のありがたみを再確認することもできました。

*検疫室…感染症対策のため、引き取ってから45日間他の鳥から隔離をしてお世話をするための部屋

コロナ禍でのご相談

TSUBASAがコロナ禍でも変わらず行っている活動が、【鳥の引き取り業務】と【お電話相談】です。

一般のお客様の「お困りごと」に対応するこの2つは、まずはお電話から始まるのでコロナ禍でも継続に支障がありません。

ここでは背景にコロナが潜む、愛鳥家さんの困り事についてお伝えします。

コロナが潜む「お電話相談」

2020年になってから増えたと感じる相談は「雛鳥、挿餌雛」に関わるもの。

雛鳥は体も弱く、元々ご相談としては多いのですが2020年春からは、「在宅勤務になり」「子供たちが自宅待機になり」という背景を元に鳥との暮らしがスタートした方が増えました。

動物病院に来院する患者さまにも、初めて動物を飼うという方が増えたと聞きます。

皆さま、きっと様々なきっかけで動物との暮らしを始めると思いますが、コロナもそのきっかけの1つでしかないと思います。

ですが、衝動的といわざるを得ないスタートを切った鳥さんと飼い主さんが不幸になる事が無いよう、勉強会やお電話相談がお役に立てたらと思います。

それと同時に、この特殊なコロナ禍にフォーカスしすぎたペットの購入自体には少し慎重になりましょうという発信も継続したいと思います。



コロナが潜む「お引き取り相談」

TSUBASAでは、コロナを背景とした引き取りの発生を懸念して呼びかけを行いました。

[詳しくはこちら](#)



また実際に、コロナを背景とした引き取りの相談は複数ありました。大きく分けると内容は2つ。

- ①仕事を失い、鳥の世話ができなくなるかもしれない
- ②一人暮らしの自分が緊急入院になったら鳥を引き取ってもらえるか

①は幸い仕事が見つかったりすることで、ここまでのところ全ての事例で引き取りには至っていません。

②は、今後の心配事としてのご相談なのでこちらも同様です。

この記事を書いている2020年冬はまだ、新型コロナウイルスの終わりは見えていません。

「コロナがなければ一緒に暮らし続けられた」そんな言葉を誰も言わなくて済むよう、早く落ち着きますようにと願わずにはられません。

2班体制、やってみました!

2班体制とは?

報道番組や文部科学省がコロナ禍の中で取り入れた、出勤者を半分ほどに減らした勤務態勢。

グループごとに分けることで以下の効果が期待できます。

- 1度に同じ空間にいる人数を減らす(3密防止)
- 感染者が職員から出た際に、全職員が出勤できなくなる事態を防ぐ

もしもスタッフが感染し、他のスタッフが自宅待機になったらだれが鳥たちのお世話をするのか、、、そんな万が一に備えての取り組みでした。保健所にも確認しましたが、動物業界で2班体制を実施できている所は非常に少ないそうです。動物業界は動物種ごとに担当が決まっていたり、元々少ない人数で働いている所が多いため実施が困難だからと考えられます。

TSUBASAも人数が決して多くないのでかなり困難ではありましたが、いざという時に備えて2週間テスト的に導入しました。

実施した感想としては、「お世話の工夫でなんとかなる、でもとっても大変!!」という事。



普段4~5人でお世話を衛生的に保っているところ、3人でこなさなくてはなりません。当然、今まで通りの作業工程では1日のお世話が終わりません。一つ一つの作業工程を見直し、絶対に省くことが出来ない部分と簡略化できる部分に分けました。

「忙しい」を理由に鳥たちの遊びの時間が減ったり、異変の察知が遅れることのないように心掛けた2週間でした。

今後中長期的な2班体制の実践に入る予定は現段階ではありません。実施しなくて済めばその方が良いと思っています。

ですが、万が一の時でも鳥たちに影響しないようにテストができたことはとても良い勉強になったと思います。

里親会の現状

TSUBASAの活動の中でもメインとも言えるほど大切な活動の1つが里親会(MTB)ですが、左ページの表にもあったように新型コロナウイルスの影響により、2020年の開催数は大幅に減ってしまうこととなりました。

何とか2回開催することはできましたが、そんな開催数の少ない里親会の結果はどうだったのか、対策内容などをご紹介します!

里親会 開催方法の比較

	新型コロナ以前の開催方法	新型コロナ後の開催方法と対策
感染症対策	消毒後の入場 	マスク着用 消毒、換気の徹底 問診票の記入 体温測定 
参加人数	定員20~25名	人数の制限(1日10名まで)
開催方法	初参加の方は「施設内」で説明会に参加	説明会動画の「事前視聴」※部屋での密を避けるため
開催頻度	月に1~2回/一回につき1日開催	開催日を増やす/1日のみ→連続4日間 ※参加者を分散させるため
施設までの交通手段	条件なし	車でお越しいただける方のみ

上記の対策を徹底しながら慎重に開催をしていき、7月10月ともに、お申し込みはほぼ満員と想像よりも多くのお客様にお越しいただくことができました。人数も一日10人と少ない設定ではあったのですが、普段の里親会に比べ、鳥さんへお声掛けいただいた件数も多い印象を受けました。実際に複数羽の鳥さんにお家も決まり、里親会開催の成果を実感することができました。

7月、10月の里親会で里親が決定した鳥さんをご紹介します!



これだけの鳥さんに素敵な里親さんが見つかりました! 次回の開催は未定ですが、今後も鳥たちのためにも対策をとりつつ開催していければと考えています。

里親になるための流れはこちら



オンラインセミナー 始動!

TSUBASAが全国各地で行なってきた啓発活動も、
コロナウイルスの影響により、軒並み延期が
中止となってしまいました…。

オフラインでの開催が困難な状況であったため、
2020年はオンラインでのイベント開催を強化しました。
それにより、今まで遠方で参加が難しかった方も
気軽にご参加いただけるようになり、新たな可能性を
感じた1年でもありました。もちろん、オフラインでの
イベントもできる世の中になることを願っておりますが、
今後も多くの方にご参加いただけるような
取り組みを行なっていければと思います。



2020年に開催されたオンラインイベント



2020 May

ゴールデンウィークミニ愛鳥塾…… イベントの詳細は  
2020年5月4日、5日、6日

TSUBASAで初のオンラインセミナーとして開催。
TSUBASAの飼育スタッフ全員が講師を務めました。
初のオンラインセミナーということで不安ではありましたが、
無事3日間開催することができました。

2020 Jun.

第13回 TSUBASAフォーラム & 100回記念愛鳥塾…… イベントの詳細は  
2020年6月21日

2月の総会と同時での開催の予定が中止となったため、フォーラムでは
TSUBASAの職員全員の活動報告と、特別講演として弁護士の青木敦子先生を
お招きしました。愛鳥塾ではTSUBASAのベテランスタッフ2名による講演と、
松本、青木先生によるトークセッションを行いました。

2020 Sep.

第17回 TSUBASAシンポジウム…… イベントの詳細は  
2020年9月21日

本来は愛鳥祭の会場内で同時開催の予定でしたが、愛鳥祭中止に伴い
オンラインセミナーとして開催することになりました。
貴重な外部講師を5名もお招きしてのセミナーとなりました。
講演は愛鳥祭で会場となるはずだった浜松町館から配信しました。

オンラインセミナー 始動!



2020 Oct.Nov.

ご当地オンライン愛鳥塾 イベントの詳細は  

2020年10月17日: 中部地方

11月21日: 東北・北海道地方

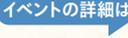
11月22日: 中国・四国地方

全国各地で開催してきた愛鳥塾は、愛鳥家さん同士が繋がりを持てるようなイベントにすることを大切にしてきました。現地で開催できない分、オンラインでそれが再現できないかと、今回企画を立てました。今回はセミナーだけでなく、座談会も開催して、同じ地方の愛鳥家同士の交流ができるようなイベントになりました。今後もこういった、愛鳥家の方々と交流できるイベントを開催できればと思っています。



2020 Oct.Nov.

バードライフアドバイザー

2級認定講座 イベントの詳細は  

2020年10月31日、11月1日

本来は名古屋でオフラインで開催の予定でしたが、2日間通しての長時間での講義であること、感染防止のため、オンラインに変更することになりました。長時間でのオンラインセミナーとはなりませんが、皆さま無事に受講できました。



詳細は随時
HPやブログにて
ご案内いたします!

2021年開催予定のオンラインイベント

2021 Mar.

TSUBASA 20周年感謝祭

2021年3月20日(土祝)

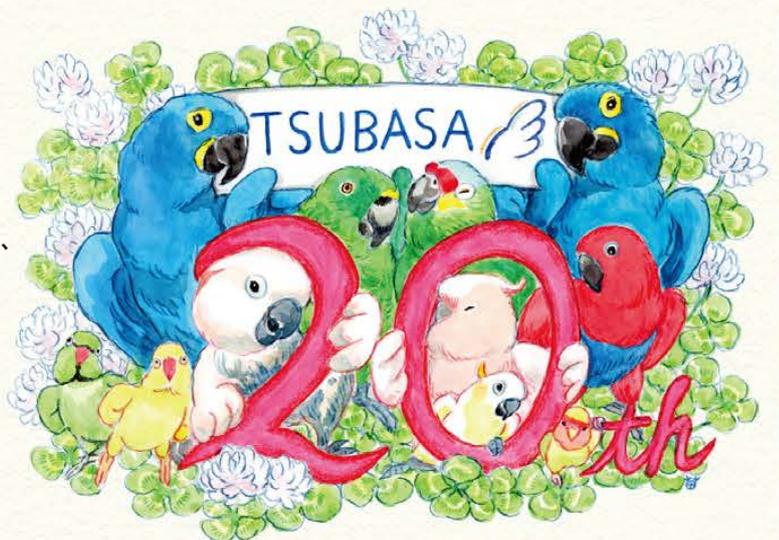
2度目の延期を経て、オンラインで開催することが決定しました。20年の活動を支えていただいた皆様へ感謝を伝えるのと同時に、楽しんでいただけるようなイベントにする予定です。また、当日は同時にTSUBASAフォーラムも開催の予定です。

2021 Jun.

オンライン愛鳥祭

2021年6月12日(土)~6月20日(日)

出展者や来場者を含め、多くの方に学んで、楽しんでいただくことを目指してオフラインで開催しておりましたが、現在の情勢や制約を考えると、従来通りでの開催は困難であると判断し、遠方の方でも参加ができるようにオンラインでの開催が決定しました。オフライン同様、より多くの方に楽しんでいただけるようなイベントを目指します。





コロナ禍のTSUBASAの鳥たち

新型コロナウイルスが流行し始め、TSUBASAも感染拡大を防ぐため土日祝日の施設開放をせず閉鎖をしていました。ボランティアさんも公共交通機関を使わない方のみをお願い、MTBも同じ対処をして開催。毎日のようにお手伝いいただいていたボランティアさん、毎週のように来てくださっていたお客さま方になかなかお会いできず施設の鳥たちも退屈な時間が続いています、、、そこで、皆さまに「コロナ禍でも鳥たちは皆元気にやっています!」とお写真でお伝えできたらと思います。新入りさんのご紹介も(^_^)

TSUBASAに新しく入った仲間たちをご紹介!

ヘンリー

お髭はまだありませんが、若い男の子です。「ヘンちゃん、おはよ」とよくお喋りしてくれます。おもちゃで遊ぶのが大好きなインコさんです。

ヤホー

最初はガチガチでしたが、今ではすっかり慣れて「やっほー」や「おはよ」などたくさんお喋りしてくれます。人が好きで腕に乗ったり握手もしてくれます。

マルメロ

人にはあまり慣れておらず、元々放し飼いで飼われていたので飛ぶのがとても上手です。若くてとても綺麗な男の子です。

ここでは3羽のみ少しだけ詳しくご紹介しましたが、里親募集中の鳥さんをHPでも詳しくご紹介しています。SNSなどでも鳥さんたちの様子を載せていますのでぜひご覧ください!少しでもTSUBASAの鳥たちの表情が伝わると嬉しいです! 新型コロナウイルス感染が終息したら、ぜひ施設に遊びに来てくださいね。スタッフ一同、鳥たちとお待ちしております。皆さまもコロナウイルスに負けず頑張りましょう!

里親募集中の鳥についてはこちらから



Twitter @TSUBASA6077 Instagram tsubasa_np0

新入職員ご紹介



兵庫県から来ました城ヶ崎裕海です!

【出身校】神戸動物植物環境専門学校 【好きな事】音楽を聴くこと・カラオケ・神社やお寺巡り・お菓子を食すること(好きなお菓子 Rummy)
鳥がすきでTSUBASAの活動のお手伝いができたらと思い入社いたしました。TSUBASAの鳥たちのために頑張りますので、よろしく願いいたします。(一緒に写っているのはセキセイインコのルルウです。トレーニング中で手と肩に乗れるようになりました!里親さん募集中です。)



いつも頑張ってくれています!

届け出で 繋ごう 鳥と飼い主

鳥さんを迷子にした・保護したときには 警察へ

飼ってる鳥を 迷してしまったら

警察署で **遺失物届** の 手続きをお願いします

遺失物届

届出をして終わりにせずに、定期的に該当する鳥さんがいないか問い合わせをしてみましょう。



おうちに帰りたい...

迷子の鳥を 保護したら

野鳥は対象外

警察署で **拾得物届** の 手続きをお願いします

拾得物届

毎日どこかの飼い主さんが必死に我が子を探しています。家族の元へ戻るため、ご協力をお願いします。

警察に届出を 出しましょう!

迷子の飼い鳥は 拾得物として扱われています

最寄りの警察署だけでなく近隣他県の警察署へも届出をして下さい。

※県同士はデータベースの連携をしていません

その他に できることは?

インターネットでの 情報拡散

掲示板やtwitter、FacebookなどのSNSを使用して鳥を探している/保護していることを発信しましょう

※飼い鳥ではなく、弱っている野鳥を発見した場合は捕まえずに各都道府県の環境局などに連絡をしましょう。野鳥を捕まえることは法律で禁止されています。

TSUBASAではSNSを通じて、 捜索に協力いたします。

全国の鳥好きの方と繋がっているSNSを利用して情報拡散のお手伝いをしております。お電話またはメールにてご相談下さい

048-480-6077 / tsubasa0615@gmail.com

情報協力:鳥さん保護情報 とりちゃん、おうちに帰ろう!グループ

こちらはTSUBASAが制作した迷子鳥・保護鳥に関する普及啓発ポスターです。どなたでも無料でダウンロードしてお使いいただけますのでぜひご活用いただければ幸いです。

ダウンロードは こちらから



なお、TSUBASAでは迷子・保護の鳥さんの情報をTSUBASAアカウントのTwitterやFacebookにて代理拡散するお手伝いを行っております。必要時には遠慮なくご連絡下さいね。

情報拡散にあたり、TSUBASAが求める情報

迷子にした・保護した	●日時
	●場所 ※SNS上に公開されても問題ない範囲で(〇〇県△△市××の近くなど)
	●鳥の種類
	●鳥の特徴 ※足環はあるか、身体的特徴はあるか、おしゃべりするかなど
	●鳥の写真 ※なるべく全身が写った写真が望ましいです

過去の「迷子鳥・保護鳥」に関する記事

とり村回覧板22号:

●鳥さんを迷子にした・外で見つけた その時、どうする?

とり村回覧板23号(なるほど!バードライフの知っておきたい10のポイント):

●防ごう!身近な危険と鳥さんの迷子

詳しい内容は こちらから



鳥を迷してしまったら、迷子の鳥を見つけたら

警察に届出を 出しましょう

おうちに 帰りたい...

迷子の飼い鳥は拾得物として扱われています
迷子の鳥を保護したら拾得物届け、
飼ってる鳥を迷してしまったら遺失物届けの
手続きを警察で行って下さい。



2020鳥の出入り

受け入れ羽数 ▶ 34羽

当初は新型コロナによりやむなく鳥を手放す方が増えてしまうのではないかと想定しておりましたが、実際は直接的に新型コロナが原因での引き取りの案件はありませんでした。

里親決定数 ▶ 25羽

2020年は新型コロナの影響で、里親会の開催日数が大幅に少ない年となりました。そんな中で25羽もの鳥達に新しい家族が決まったことは、本当に嬉しいことと感じております。

来年も、新型コロナ感染防止に最大限対策をとりつつ里親会開催を目指したいと思います。



JAMMINさんとの再コラボ決定!!

～JAMMIN～

1週間限定販売のチャリティー専門ファッションブランド。週ごとに様々なNGO/NPOとコラボしてオリジナルデザインの商品を発表し、1週間限定で販売。全ての商品の売上の一部(Tシャツ1枚につき700円)を、その週のコラボ先NGO/NPOに寄付されています。

TSUBASAは2019年冬に、JAMMINさんからお声がけをいただき初めてコラボをさせていただきました。その時には大変多くの方々からの反響や予想をはるかに上回るご寄付をいただくことができ、嬉しさと同時にびっくり仰天したのを覚えています。

このコラボがきっかけでTSUBASAを知ったという方々も、少なくありませんでした。(ちなみにその時いただいたご寄付は、絶対に欠かせない施設の鳥達の医療費全般として活用させていただきました。

ご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。)

そして、今回約2年ぶりとなる再コラボが2月1日～7日に決定いたしました!



JAMMIN
さんの
サイト



2021年
コラボの
TSUBASA
紹介ページ



【重要なお知らせ】

2021年1月現在、新型コロナウイルス感染防止対策として、施設開放を中止しております。鳥たちの見学等ができませんので何卒ご了承願います。最新の情報はHPをご覧ください。

TSUBASA 公式サイト▶ www.tsubasa.ne.jp

認定NPO法人 TSUBASA 埼玉県新座市中野2-2-22

[Tel]048-480-6077 [Fax]048-480-6078 [e-mail]tsubasa0615@gmail.com

【発行元】認定NPO法人 TSUBASA
松本壯志 / 涌井智美 / 望月健人 /
加藤絵里 / 柴山玲 / 越阪部正文 /
城ヶ崎裕海 /
【発行】2021年1月
次回発行は2021年8月予定です。
誌面の情報は発行日現在のものです。
情報に変更が生じる場合がございます。
のでなにとぞご了承ください。